2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)	科目	区 分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	核医学検査技術学 II		必修/選	択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び	曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担当教員	片渕 哲朗		ア校医学並	門に長く関			こ核医学専門技師とし ・専任教授として核医学

《授業科目における学習内容》

核医学検査機器(ガンマカメラ、SPECT、PETなど)を用いた各種核医学検査法について臓器別に講義を行う。各検査ごとの使用放射性医薬品と体内動態、適用疾患、撮像タイミング,前処置、禁忌、副作用、画像処理、基礎的読影法に加え核医学治療についても学習する.また、2年後期で学習した,核医学検査機器に関する内容の復習も兼ねて講義を行う.

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)

出席点(20%)

平常点(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

日本放射線技術学会 監修、大西 英雄 編、市原 隆 編、山本 智朗 編 放射線技術学シリーズ「核医学検査技術学」(改訂 3版)

オーム社

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し,教科書,参考書を利用して事前学習(予習,復習)すること.

《履修に当たっての留意点》

本講義は核医学検査および核医学治療の臨床の実際に向けて重要な講義である. 前期で学習した核医学診療機器の特性を利用して検査を行うので, 各検査で使用する核医学診療機器について復習を行うこと.

授美方	業の 法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	ガンマカメラのシステム,特徴について説明ができる	教科書,参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
1		各コマに おける 授業予定	前年度に学習した核医学診療機器の復習		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	SPECTのシステム,特徴について説明ができる	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
2回	我形式	各コマに おける 授業予定	前年度に学習した核医学診療機器の復習	配布資料	
第	講	授業を 通じての 到達目標	脳循環動態の核医学検査の特徴について理解する	教科書,参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
3	士	各コマに おける 授業予定	脳神経系の核医学検査【概要, 脳血流シンチグラフィ】について		
第	講	授業を 通じての 到達目標	中枢神経受容体,神経伝達系シンチグラフィについて理解する		講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
4	義形式	各コマに おける 授業予定	ベンゾジアゼピン受容体シンチ, 脳ドーパミントランスポーター シンチグラフィについて	教科書, 参考書配布資料	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	脳血流定量解析と統計学的診断法について理解する	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
5		各コマに おける 授業予定	局所脳血流量測定法【定性画像と定量画像, MS法, ARG法, patlak plot法】,統計学的診断法について		

	業の法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6	講義形	授業を通じての到達目標	心筋血流シンチ、心機能解析について理解できる	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
回	八式	各コマに おける 授業予定	循環器系の核医学検査【概要、心筋血流シンチ、心プール、心機能解析】について	EL加東村	
第 7	講義	通じての 到達目標	心筋脂肪酸代謝,交感神経,障害,梗塞シンチについて理解 できる	教科書,参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
, (1)	形式	各コマに おける 授業予定	循環器系の核医学検査【心筋脂肪酸代謝シンチ,心筋交感神経シンチ,障害心筋シンチ】について		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	心プールシンチ,心臓動態シンチについて理解する	数 到書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を
8	我形式	各コマに おける 授業予定	循環器系の核医学検査【心プールシンチ,心臓動態シンチ】 ついて	配布資料	用いて理解を深めること。 復習は必ず行うこと。
第	授業を通じての 到達目標	通じての	概要, 肝, 肝受容体, 肝胆道, 唾液腺シンチについて理解できる	教科書, 参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
9	我形式	各コマに おける 授業予定	消化器の核医学検査【概要, 肝, 肝受容体, 肝胆道, 唾液腺 シンチ】ついて		
第	第 義	授業を 通じての 到達目標	肝胆道,唾液腺,メッケル憩室シンチについて理解する	数利津 杂老聿	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
10回	我形式	各コマに おける 授業予定	消化器の核医学検査【肝胆道シンチ, 唾液腺シンチ, メッケル 憩室】について	配布資料	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	消化管出血,タンパク漏出シンチについて理解できる		講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
11	彩 式	各コマに おける 授業予定	消化器の核医学検査【消化管出血, タンパク漏出シンチ】について		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	肺血流,肺換気,肺吸入,下肢ベノシンチについて理解できる	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
12	¥形式	各コマに おける 授業予定	呼吸器系の核医学検査【概要, 肺血流, 肺換気, 肺吸入, 下 肢ベノシンチ】について	配布資料	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	甲状腺シンチ,甲状腺機能解析,副甲状腺シンチについて理 解できる	松 科	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこ と。
13 回	我形式	各コマに おける 授業予定	内分泌系の核医学検査【甲状腺シンチ,甲状腺機能解析,副 甲状腺シンチグラフィ】について	配布資料	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	副腎皮質、髄質シンチについて理解できる		講義で配布する資料の みではなく、教科書等を
14 回	我形式	各コマに おける 授業予定	内分泌系の核医学検査【副腎皮質、髄質シンチ】について	配布資料	用いて理解を深めること。 復習は必ず行うこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	腎静態, 動態シンチ, レノグラムについて理解できる	教科書, 参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を
15 回	我形式	各コマに おける 授業予定	泌尿器系の核医学検査【腎静態, 動態シンチ, レノグラム】に ついて	配布資料	用いて理解を深めること。 復習は必ず行うこと。

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(昼間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	核医学検査技術学 II	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (2) 時間(単位)
対象学年	3年	学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担当教員	片渕 哲朗 実務経験と その関連資料		与する. その後, 岐阜		に核医学専門技師とし)専任教授として核医学

《授業科目における学習内容》

核医学検査機器(ガンマカメラ、SPECT、PETなど)を用いた各種核医学検査法について臓器別に講義を行う。各検査ごとの使用放射性医薬品と体内動態、適用疾患、撮像タイミング,前処置、禁忌、副作用、画像処理、基礎的読影法に加え核医学治療についても学習する.また,2年後期で学習した,核医学検査機器に関する内容の復習も兼ねて講義を行う.

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%) 出席点(20%) 平常点(10%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

日本放射線技術学会 監修、大西 英雄 編、市原 隆 編、山本 智朗 編 放射線技術学シリーズ「核医学検査技術学」(改訂3版)

オーム社

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し,教科書,参考書を利用して事前学習(予習,復習)すること.

《履修に当たっての留意点》

本講義は核医学検査および核医学治療の臨床の実際に向けて重要な講義である. 前期で学習した核医学診療機器の特性 を利用して検査を行うので, 各検査で使用する核医学診療機器について復習を行うこと.

授美方		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	概要,骨代謝シンチについて理解できる	教科書,参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこと。
16回	我形式	各コマに おける 授業予定	骨, 骨髄, 造血器系の核医学検査【概要, 骨代謝シンチ】について		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	骨髄シンチについて理解できる	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこと。
17 回	我形式	各コマに おける 授業予定	骨,骨髄,造血器系の核医学検査【骨髄シンチ】について	配布資料	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	造血器系シンチ,試料測定について理解できる	教科書,参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこと。
18	我形式	各コマに おける 授業予定	骨,骨髄,造血器系の核医学検査【造血器系シンチ,試料測 定】について		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	概要,リンパ管・節シンチについて理解できる	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこと。
19	^我 形式	各コマに おける 授業予定	リンパ系, RIアンギオシンチ【概要, リンパ管・節シンチ】について	配布資料	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	乳腺センチネルリンパシンチについて理解できる	教科書, 参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこと。
		各コマに おける 授業予定	リンパ系シンチ【乳腺センチネルリンパシンチ】について		

	授業の 方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	腫瘍シンチグラフィ,腫瘍糖代謝PET検査について理解できる	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を
21 回	形式	各コマに おける 授業予定	腫瘍シンチグラフィ,腫瘍糖代謝PET検査について	配布資料	用いて理解を深めること。復習は必ず行うこと。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	RI内容療法について理解できる	教科書,参考書 配布資料	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこと。
22 回	我形式	各コマに おける 授業予定	核医学治療について		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	核医学診療のリスクマネージメントについて理解できる	教科書,参考書	講義で配布する資料の みではなく、教科書等を 用いて理解を深めるこ と。復習は必ず行うこと。
23 回	我形式	各コマに おける 授業予定	核医学診療のリスクマネージメント【核医学に関する法令,被ば く管理,患者接遇などについて】		
第	講義	授業を 通じての 到達目標			
24	形式	各コマに おける 授業予定			
第	講	授業を 通じての 到達目標			
25	義形式	各コマに おける 授業予定			
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標			
26 回		各コマに おける 授業予定			
第	講通	授業を 通じての 到達目標			
27	義形式	各コマに おける 授業予定			
第	講美	授業を 通じての 到達目標			
28 回	義形式	各コマに おける 授業予定			
第	講	授業を 通じての 到達目標			
29 回	義形式	各コマに おける 授業予定			
第	講	授業を 通じての 到達目標			
% 30 回	義形式	各コマに おける 授業予定			